

#### 2023 全日本ロードレース 第6戦！

第5戦もてぎから2週間のインターバルでの全日本ロードレース選手権第6戦オートポリス大会。灼熱の鈴鹿8耐を乗り切り、暑さの残るもてぎから、台風の影響で少し涼しい九州大分県の今大会。 昨年は開幕もてぎでの転倒、ケガの影響で5月開催のオートポリスは出場していない。マシンも昨年から変更され、自分のデータは2020年のものからスタート、前週の事前テストで調子を合わせた。

**9/2予選：** 9:40スタート。 タイヤ選択からなかなかタイムが上げられない予選となった。 マシンの状況を確認しながら走行し、途中タイヤを交換、9周目のタイムでベストラップタイム1分49秒466を出し11番グリッドを獲得した（セカンドタイムで3日のレース2は9番グリッド）

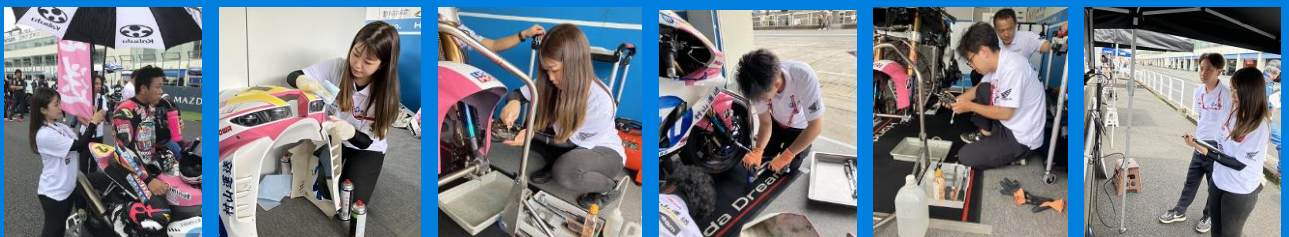
**9/2レース1：** 当日の午前中を予選、午後にレース1が行われる。 秋吉はサイティングでマシンを確認し11番に付き、シグナルを待った。 レッドからブラックに変わった瞬間、なんと秋吉のマシンに後続車が追突し、後続車も巻き込んで転倒、しかもコース上に残ってしまい、レースは赤旗中断に、すぐ様ピットにもどりTカーに乗り換える事に。 再スタートは問題なく進むも、転倒時の体の痛み、マシンの調子が合わず、ポジションを一つ落とし12位でフィニッシュした。

**9/3レース2：** 朝のウォームアップ走行でマシンや走行状況を確認しながらセッティング、マシンを決定。 午後のレース2を迎えた。 サイティングラップでマシンの状況を再度確認し、9番グリッドに着いた。 シグナルがレッドからブラックに、今回は全車が綺麗にスタート、オープニングラップは一つ落とし10番手通過そのままキープしながらレースを進めたが、昨日と違い路面温度が高い状況、又サイティングラップで自分が感じた違和感が残る、なかなかタイムが上がらない。 じりじりと後方車両2台に追い抜かれるも、抜き返せるマシンではない。 それでもガマンのレースを続け、ここは無理をして転倒、0ポイントでは意味をなさない、違和感を感じながら何とか周回を重ねたレース2結果は12位でフィニッシュ。



#### 【今回のメカニック サポート】 ホンダドリーム博多 営業スタッフ1名 ホンダドリーム福岡春日 サービス スタッフ1名

2023年ホンダドリームジャパンは秋吉選手のチームにレースサポートを実施、ここオートポリス大会ではホンダドリーム博多、福岡春日のスタッフ2名がサポートで木曜に合流、マシン整備やレースのグリッドなど、国内トップカテゴリーのレースに触れ、自身の経験値を上げ、お客様へフィードバックできる貴重な体験と知識を得た。



#### 【第6戦 レース結果】

決勝レース1(15周)：12位・決勝レース2(18周)：12位  
第6戦時点ポイントランキング：11位